

広島県中小企業団体中央会 2015年2月分情報連絡一覧表

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

2月の出荷量は前月比4.4%減少、前年同月比5.3%減少、売上高は前月比4.5%減少、前年同月比4.4%減少となった。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成27年1月の全国新設住宅着工数は、77,713戸で、消費税増税前の駆け込み需要が多かった前年同月比では、13.0%減少となった。前々年同月比では、2.3%減少となっている。季節調整済年率換算値では86.4万戸(前月比2.1%減少)となった。利用関係別にみると、持家は20,282戸で前年同月18.7%減少、分譲住宅は20,042戸で前年同月11.2%減少、貸家は26,856戸で前年同月10.3%減少となった。木造住宅着工数は、36,196戸で前年同月10.0%減少となった。

住宅着工の動向については、リーマンショック以降、消費マインドの改善等により堅調に推移してきたが、消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり、実数値では前年同月比で減少となっている。

持家(注文住宅)の着工については、依然として低い水準で推移している。今般の経済対策等を踏まえ、住宅着工については、今後の動向を注視する必要がある。

広島県内の着工数は1,160戸で前年同月比39.9%の大幅減となった。その内訳としては、持家が340戸で前年同月30.0%の減少で、貸家が565戸で前年同月4.4%の増加、分譲が255戸で前年同月71.2%と大幅な減少となった。

福山木材協同組合

消費税増税後の落ち込みからようやく回復の兆しが見える。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

前月同様、引き続き厳しい景況にある。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

上半期は、消費税増税前の駆け込み需要の名残もあり、前年度上半期と同程度の仕事量が確保できたが、下期は円安進行にもかかわらず、売上は対前年比マイナスとなりそうである。国内販売不振、現地生産への移行が要因と思われる。

円安も120円に近づきつつあり、輸出業界においても原材料、エネルギー費の増加等国内

物価上昇の影響が心配され、行き過ぎではないかとの声が出始めている。労働者確保も不透明である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は、全体的に各社横ばいから減少傾向にある。自動車関連企業は、2月～3月は生産台数の増加で、売上は増加傾向にある。

円安傾向及び原油安に伴うガソリン・重油等の価格安傾向は、収益の面で良い傾向にある。しかし、それに伴うコストダウン要請や春の賃金アップ等を考慮すると、経営環境は、先行きが見えず厳しい状況である。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

27年2月 2,953 m³ (対前年比 3.8%減少)

27年1月 2,862 m³

26年2月 3,068 m³

本年1月末日、組合員が1社持分譲渡による法定脱退があった。

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

景況の良い企業、今ひとつの企業と企業間格差が大きい。建築向けでは、隣県のライバル企業による営業が多くなっており、備後地域の仕事を他県業者が受注しており、地場企業の受注量が減少している。

雇用人員が増えており、教育訓練の受講者は増加傾向にある。

(一般機器)

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部観音地区においてコンプレッサー関係は高操業であるが、製鉄機械、タイヤ機械等は低操業である。江波地区においては航空機関係が高操業であり、それに携わる協力会社各社の操業も高い状況である。

広島県東部機械金属工業協同組合

2月も仕掛かりが多く売上に繋がらなかったが、1月分の仕掛分のみ計上出来たため、前月比10%増加、前年同月比15%減少となった。

(電気機器)

●電気機械器具

(電気) 広島県東部機械金属工業協同組合

輸出物件の増加により、生産が上回っており、前月比、前年同月比共に5%増加となった。

人の集まりがよくない。特にパートタイマーの集まりが悪い。賃金の高騰がそのまま続くようなので、収益や人員確保に大きな問題がでている。人材派遣会社の規制が必要ではないかと思う。円安傾向により、国内回帰の動きはあるが、人員確保が課題となりそうである。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

2月の国内自動車販売台数は全需が482千台、前年同月比14.7%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。登録車は前年比14.2%減少と7ヶ月連続の前年割れ、軽自動車も15.4%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。マツダ車も3.6%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

アメリカの1月の全需は1,151千台で前年同月比13.7%増加と11ヶ月連続の前年越え。マツダ車は同7.7%増加と3ヶ月連続の前年超えとなった。

欧州の1月の全需は1,133千台で、前年同月比0.6%増加と3ヶ月振りの前年超えとなった。マツダ車は同4.3%減少と21ヶ月振りの前年割れとなった。

中国の1月の全需は2,357千台で、前年同月比9.3%増加。マツダ車は11.7%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の1月の海外販売合計台数は98千台、前年同月比1.0%増加で19ヶ月連続の前年越えとなった。

マツダは北米・欧州向けの輸出台数が前年比で大幅なマイナスとなり、全体では前年比13.8%減少と6ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダの1月の国内生産台数は、海外拠点での生産拡大により、輸出台数が減ったため、前年同月比10.9%減少となり、5ヶ月連続の前年割れとなった。

●輸送用機械器具（造船）

(社) 中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の平成27年2月の建造許可実績は4隻148,500総トン(前月4隻115,250総トン、前年同月5隻224,000総トン)であった。なお、4隻は貨物船で全て輸出船となっている。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

原材料の高騰により収益性が悪化している。

(その他)

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

2月後半よりやや受注状況が好転した。前年実績とは比較が難しい状況ではあるが、前々年比では実績では増加している。

府中家具工業協同組合

材料費(木材等)が値上がりしている。

(卸売業)

●卸売業(総合)

協同組合福山卸センター

組合管理の空き店舗や駐車場の賃貸希望者が増加している。新卒の採用が増え、駐車場ニーズが出てきており、保管スペース確保のため、賃貸物件の問い合わせが増えたのではないかとと思われる。

協同組合広島総合卸センター

原油価格の下落により輸送コストは改善されたが、円安の定着により仕入コストが着実に上がってきている。また、輸入業者は円高時の為替予約の期間が終了し、円安での予約が大幅なコストアップとなっている。

「資材関連」においては、平成26年度補正予算が決まり、3月から省エネ機器の補助事業がスタートするため、需要拡大が見込める。

「食品」においては、外食向けの2月の売上は、前年割れとなっており、現状では消費拡大は見込めない。

「繊維」においては、下着業界は、円安により日本製品が見直され、引き合いが増加している。日本製の製造卸業者は追い風になることが期待されている。

「雑貨」においては、生活雑貨は1・2月を均せば対前年比100%、売上面においては特に変化はない。メーカーは4月以降本格的に商品値上げを行う予定である。

●卸売業(電設資材)

広島県電設資材卸業協同組合

住宅市場において、2020年のZEH(ゼロ・エネルギーハウス：住宅で使われるエネルギーにおいて、発電等で創出されたエネルギーが、電気・ガス灯油等で消費されるエネルギーを上回る住宅)に向け、HEMS(ホーム・エネルギー・マネジメント・システム：家の様々な家電製品をネットワークでつなぎ、エネルギーの見える化をしたり、状況に応じて機器をコントロールすることで快適な省エネな暮らしを実現するシステム)がハウスメーカーを中心に採用が進んでいる。今後電力の自由化、スマートメーター導入によりどのように変化していくかは不透明であるが、情報を基に需要を予測し、柔軟に対応していかなければならない。また、各種補助金を活用し、需要創造となる提案営業に注力していかなければならない。

●卸売業(畳・敷物)

広島県藁製品商業協同組合

例年、2月は畳表の需要も低調で受注分を生産・販売している程度である。藁業全体を見ても、やや活気が薄れている状況である。3月に入れば受注も増加するものと期待している。中国産表でも同様に需要増が期待されるが、ゆっくりの状況である。

価格は、国産表では堅調に推移、中国産表でも値堅く推移している。春の訪れと共に、様々なキャンペーン効果から需要も伸びるものと期待している。

(小売業)

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

昨年より多く売り出しを実施し、休業日も減らした。伸びた業種もあれば減少した業種もあり、全体売上としては前年並みとなった。

重油の値下がりと気温が高かったこともあり、燃料費(暖房代)のコスト削減が出来た。

チューリップチェーン商業協同組合

今月は売上が前年比、前年同月比とも減少した。一番の要因は、外売の減少である。一方、店舗は競合が厳しい中、来店客数、売上は微減程度に留まっている。こうした中、チラシ販促以外で、曜日別特売(日々のサービスデー)、日曜買い物券(日曜日に買い物に来られた方に次回のお買い物券をお渡し)、木曜クーポン券の配布などを行っている。また、これらを定期的に有線放送で案内しており、こうしたことが多少なりとも売上維持に繋がっていると考えられる。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

2 月度の販売実績は前年同月比 20.8%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比 12.6%減少、BD レコーダー同 28.5%減少、音響・車載機器同 30.7%減少、冷蔵庫同 26.8%減少、洗濯機同 22.9%減少、エアコン同 22.4%減少、エコキュート同 15.6%減少、IH クッキングヒーター同 23.3%減少となった。

消費税増税に伴う反動減による低迷が未だに続いている。年度が変わらないと前年比増は見込めそうにない。

(商店街)

●商店街(各種商品小売業)

呉本通商店街振興組合

来街者は気候のせい、少ない。

広島の不動産業者が、当商店街の3箇所の不動産(土地・建物)を買い取り、営業用地として転売するようである。

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比 37.4%増加、前年同月比 6.7%増加。車検場収入は前月比 31.5%増加、前年同月比 9.1%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比 2.0%減少、前年同月比 18.7%の減少となっている。

車検台数、車検場売上は、前月および前年同月比共に増加となっているが、重量税売上は、前年及び前年同月比減少となっている。その要因としては、受注先から重量税証紙の提供が増加したためと推測される。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

3月に売上がずれていることもあり、全体としては低調である。年度末には統一地方選挙関連による売上増加が見込める。

情報サービス

(社) 広島県情報産業協会

中途採用人材が不足している。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

2月の売上について前月比 36%増加、前年同月比 19%減少となっているが、4月～2月の前年累計比では 1%増加で推移している。

前月比で見るとカーテン工事が 96%と大きく伸びたが、前年同月比では壁装工事が 50%減少と大きな落ち込みとなった。これは、消費税増税に伴う駆け込み需要の影響が大きい。

前年累計比で見ると、カーテン、敷物工事が前年を下回っているが、壁装工事は 6%増加で推移し、現状では工事物件はやや上昇基調にある。

福山地区電気工事業協同組合

2月における工事受注件数は前月比 21%減少、前年同月比 3%増加となった。

神辺建設業協同組合

年度末を迎え、公共案件の発注は、繰越案件を除き、ほぼ止まっている為、中小零細各社は民間需要を積極的に受注する傾向となっている。

(運輸業)

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

2月は例年閑散期であるが、車両数が減少しているためか、今年は忙しかったようである。燃料単価も再び上昇し、先行きが心配されている。運転手も相変わらず集まらず、また、先日もある運送業者において突然、退職者が 2 名あり、業務に支障が出たとのことである。給与が安く作業がきついが今の運賃では賃上げも難しい。運賃を上げるには、運賃の原価計算を行い、荷主の理解を得るなど、自助努力が必要であると思われる。

広島輸送ターミナル協同組合

燃料費は若干上昇傾向になっているが、荷動きが例年と比べ鈍いようである。期末に向け、車両が足らなくなるのではないかと心配している。

広島県ロジネット協同組合

2月の荷動きは、堅調に推移したようである。月初めから 1 週毎に荷物量が前週を超える量となるのは例年通りであり、3 月の決算時にピークを迎えることは順調な動きと予想でき

る。当然のことながら荷物量に見合った車両確保に各社とも苦慮することも予想できる。

軽油価格においては、大幅な値下げ傾向が続いていたが、一気に反発して値上げとなった。国内メーカーも値上げに踏み切った様子である。2円～3円/Lの値上げとなっているようで、3月も値上げ傾向は続くであろう。引き続き軽油価格の安定は望めないようである。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高年齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。

運賃、用船料の改善が見られない。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比及び前年同月比共に特に変わった要因はない。

不動産市場は、都心部での地価上昇が高い値を示しているが、住宅販売については、一時の勢いはなくなっている。